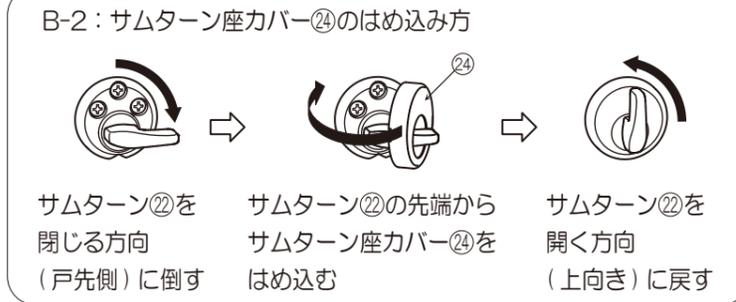
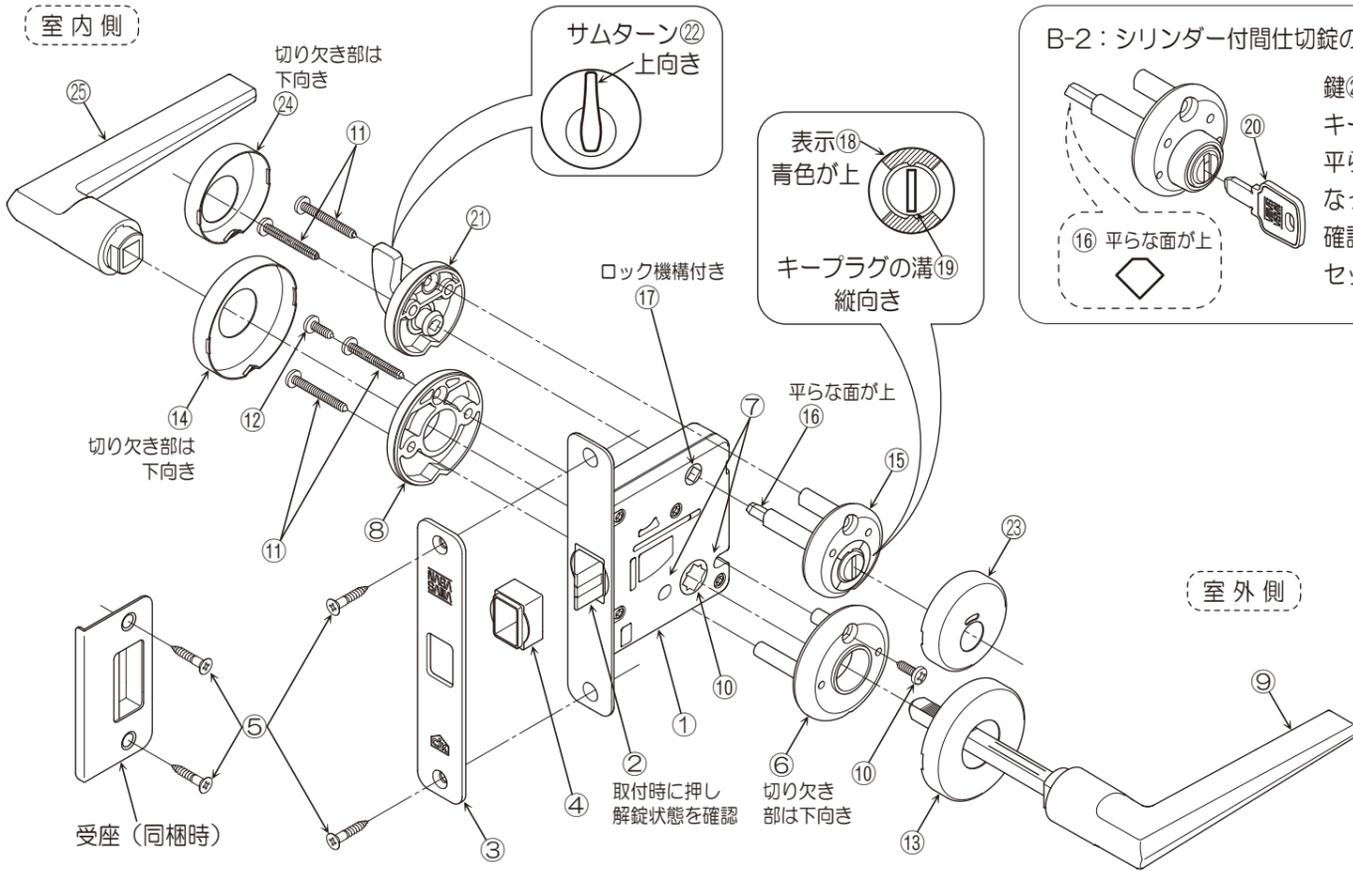




※ 締め付けの際は、必ず手動ドライバーをご使用ください。  
電動ドライバーは使用しないでください。  
ねじ穴の破損および錠・座本体などを傷めるおそれがあります。  
※ 取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けてください。



イラストは【丸座 (H座) 表示錠】(R6 フロント板) 右吊元仕様

- A：吊元の確認と錠の取り付け
- ※ 錠①のラッチボルト②を押して、解錠状態であることを確認します。押せない場合は①を回して解錠します。
- 「左吊元」の場合は、フロント板③と、ラッチプッシュ④をはずし、錠①のラッチボルト②を廻してあわせてください。ラッチボルト②をあわせたら、ラッチプッシュ④は錠①に、はめ戻します。
  - 錠③を図の向きで、扉加工部に差し込み、フロント板③をあわせて、固定ねじ⑤2本で取り付けます。
- B-1：空座の取り付け
- 室外側補強座⑥の脚部を錠ガイド穴⑦に差し込み、室内側補強座⑧を合わせます (切り欠き部は下向き)。  
※ 角芯棒付レバーハンドル⑨を錠角穴⑩に差し込み、錠③が正常に作動することを確認します。
  - 補強座⑥⑧の固定位置を確認し、取り付けねじ (L=30)⑪2本で取り付けます。
- ⚠ 角芯棒付レバーハンドルを仮セットし、錠が正常に作動することを必ず確認してください。補強座の固定位置が確認できます。固定位置がずれると、レバーハンドルの動きに支障がでることがあります。**
- 補強座⑥⑧を、固定ねじ (L=12)⑫2本で固定します。
  - 仮固定のレバーをはずし、空座カバー⑬⑭を嵌め込みます (切り欠き部は下向き)。

- B-2：【表示座】【間仕切座】【シリンダー付間仕切座】の取り付け
- 表示座⑮(間仕切座・シリンダー付間仕切座)のキープラグ⑬は平らな面を上向きにして、錠のカム穴⑬に差し込みます。(表示⑮は青色が上。キープラグの溝⑭は縦向き)。シリンダー付間仕切錠は、上記のようにセットします)
  - サムターン座⑱(サムターン②はツマミが上向き)をセットし、取り付けねじ (L=30)⑪2本で取り付けます。
  - 表示座カバー⑲(間仕切座カバー・シリンダー付間仕切座カバー)と、サムターン座カバー⑳を上記のように嵌め込みます (切り欠き部は下向き)。

- C：ワンタッチレバーハンドルの取り付け
- 角芯棒付レバーハンドル⑨を錠角穴⑩に差し込みます。反対側レバーハンドル⑲をセットしてください。  
※ ハンドルセットは、軽く差し込むだけで固定されます。強く押さえ過ぎると動きに支障がでることがあります。その時は上記『ワンタッチレバーの取りはずし方』を参考にゆるめ、適正な位置にあわせてご使用ください。

